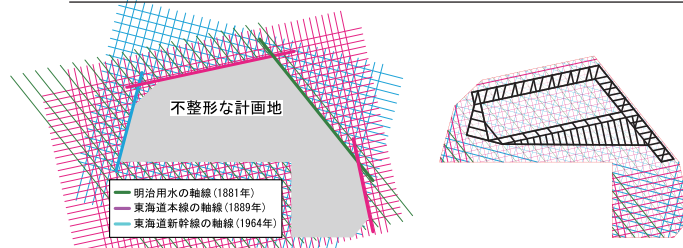


東海道新幹線+東海道本線+明治用水の交わる軸と点



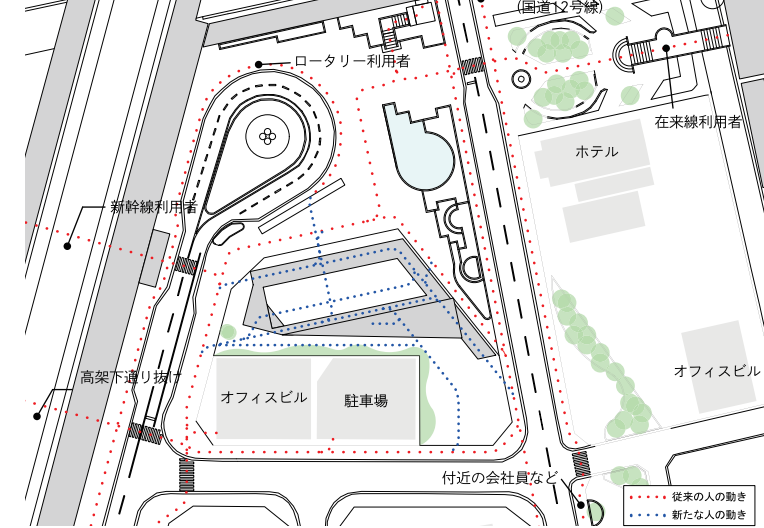
異なる時代に建設された新幹線三河安城駅北口に交差する3つの線(東海道新幹線、東海道本線、明治用水)は、それぞれ何らかの意図をもって建設されたと予想されます。しかし、現在に至っては線の存在が無秩序に交差しているように見受けられます。今回、時代の異なる線の交点を地理的に導き出し、3つが重なる場所へ「軸に梁」を配置しました。これまで意味を見出すことがなかった線を繋ぎ、新たな場を生み出します。

■広域図 S=1/3000

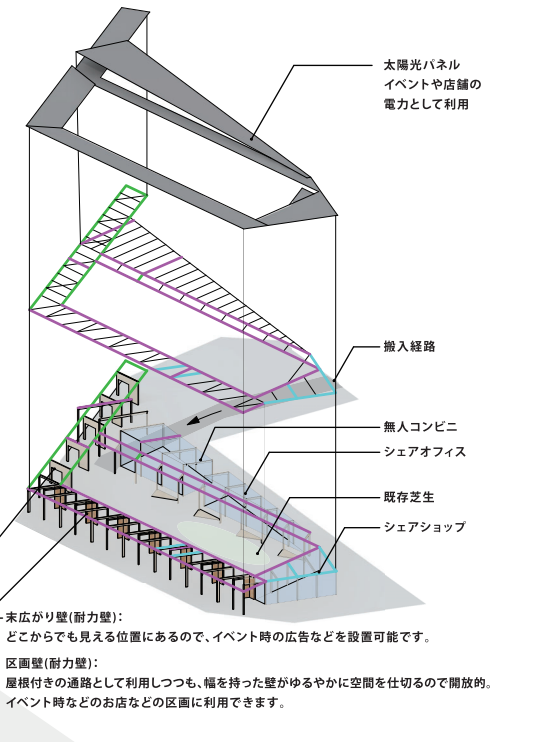


計画地は、明治用水中井筋(1881年)・東海道本線(1889年)・東海道新幹線(1964年)のそれぞれに囲まれており、明治以降の安城の街並みを形成するに多大に寄与したこれら都市的なライフラインの軸線に依拠した場を計画します。

■配置図 S=1/1000



計画地周辺は地域の枠を超えて、多様な人が行き交う場所となっている。それらの人々をどこからでもアクセスできるようにするため、敷地をトレースするように通路を配した建築とし、その通路を介することでどの方向にも通り抜け可能な公共性の高い計画となります。



太陽光パネル イベントや店舗の電力として利用

搬入経路

無人コンビニ

シェアオフィス

既存芝生

シェアショップ

未広がり壁(耐力壁): どこからでも見える位置にあるので、イベント時の広告などを設置可能です。

区画壁(耐力壁): 屋根付きの通路として利用しつつも、幅を持った壁がゆるやかに空間を仕切ることで開放的、イベント時などのお店などの区画に利用できます。

sennoma 線の間

時代背景のことなる3つの軸が交差する点へ生み出された場

非日常の活用
ハレ

<催事イベント会場>
新アリーナでの観戦、民間活用の道中に立ち寄れる場。

<スポーツイベントやマルシェの開催>
※マルシェ等は中庭や建築物の周面にブースを設け空間を最大限活用することを目指し公園全体に人々が回遊する場を目指します。

日常の活用
ケ

<民間運営の店舗の誘致>
人々の待ち合わせ。乗降車時の立ち寄れる場。

<無人コンビニエンスストア誘致の構想>
ジャスト・ウォークアウト (Just Walk Out) の導入を目指し日常に浸透させる構想
※買収収益化し建築物の維持管理費等の補填を検討します。



魅力ある
三河安城の創出

三河安城の課題
ランチ難民の増加
電灯が少なく暗いイメージ
鉄道降車時に気軽に立寄れるお店が少ない
三河安城駅に行く目的が駅利用しかない

継続的な賑わいの創出
地産地消や地元のモノをアビールができるイベント等

地域ブランドの向上
地元企業やお店、自社アビールができる場所

スポーツのまち
スポーツにて健康で幸せに暮らせるまちづくり

住みやすいまちづくり
子供達が安心・安全に遊べる施設